

## 「障害者のつくる品物フェア」を開催！

本日、杉並区役所（阿佐谷南 1-15-1）で、区内の障害者施設でつくるネットワーク「すぎなみ仕事ねっと」（全 25 箇所）が、「障害者のつくる品物フェア」を開催しました。施設に通うメンバーがまごころ込めて作った小物やパン、菓子などの販売を通じて、障害者の理解を深め、より多くの人に商品を知ってもらい、障害者の工賃アップにつながるよう、定期的に行われているもので、多くの買い物客でにぎわいました。

杉並区内には、障害者の通所施設 25 か所で行うネットワーク「すぎなみ仕事ねっと」があり、区と連携し障害者の工賃アップに取り組んでいます。こうした通所施設では、イベントなどで手づくり商品を販売したり、区役所や事業者から書類の封入や段ボール箱の組み立てなどの軽作業の仕事を受注して、施設利用者の工賃としています。

そのため、すぎなみ仕事ねっとでは、年に 3~4 回、障害者施設の販売会を通じて、施設の利用者が作った品物を多くの人に見てもらい、その丁寧な仕事ぶりを知ってもらうことで、販売の促進につなげています。

28 日、区役所には、区内 14 か所の障害者施設が出店しました。調理パンやラスク、クッキー、そして、T シャツやビーズ製品といった手工芸品が並んでいます。どの商品も、施設利用者がまごころ込めて丁寧に作ったものです。また、種から育てたハーブやゴーヤの苗も人気です。



本日の売り上げだけで、大きな利益があるわけではありませんが、買い物客との笑顔の会話が、施設利用者の日頃の仕事に対するモチベーションにもなっています。

区の担当者によると、「障害者の平均工賃は東京都においても、14,588 円となっており、工賃を得て、自立するには時間がかかります。そのため、こうした機会を捉えて多くの事業者や団体に可能性を伝えるとともに、今年から、民間事業者との協働により、民間の経営やデザイン、流通などの専門的なノウハウ等を活用して、さらに魅力的な商品開発と効果的な販路開拓を進め、このようなイベントを通じて取組の成果をお伝えしていきます。」と話していました。次回の区役所でのフェアは、7 月 23 日に予定しています。

### 【問い合わせ先】

保健福祉部障害者生活支援課 電話 3 3 1 2 - 2 1 1 1（内線 2 2 7 4）